

(資料4)

# 資源管理目標、漁獲シナリオ等の検討について

---

令和7年3月24日(月)

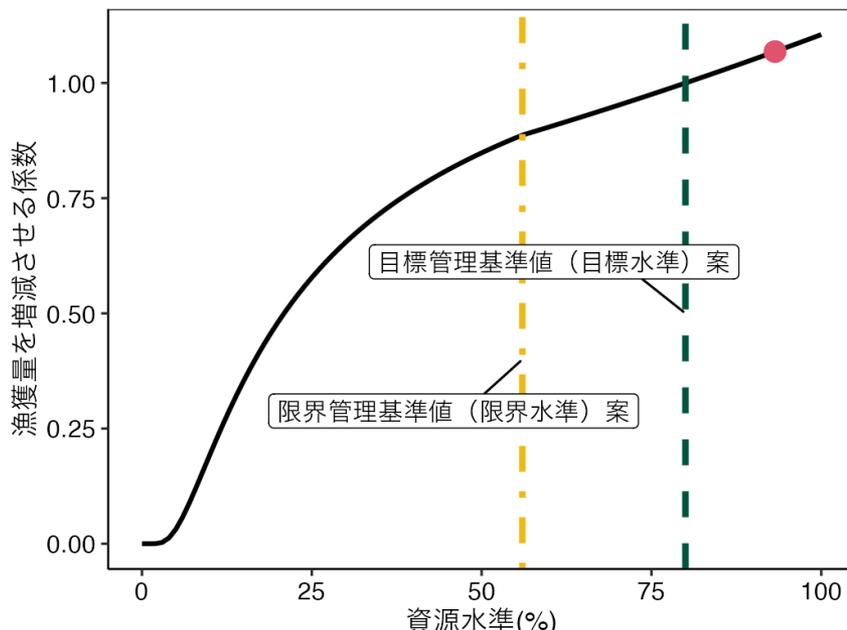
第2回資源管理方針に関する検討会  
～ベニズワイガニ日本海系群(知事許可水域)～

**水産庁**

# 1. 資源管理目標(案)について

資源評価に基づき研究機関から提案されている資源管理目標の案を採用する。

資源管理の目標等	資源量指標値	資源量水準	漁獲量を増減させる係数
<b>目標管理基準値(案)</b> (回復・維持する目標となる資源水準の値)	460,420	<b>80.0%</b>	1.000
<b>限界管理基準値(案)</b> (下回ってはいけない資源水準の値)	401,629	<b>56.0%</b>	0.887
現状の値(2023年)	515,628	93.2%	1.07

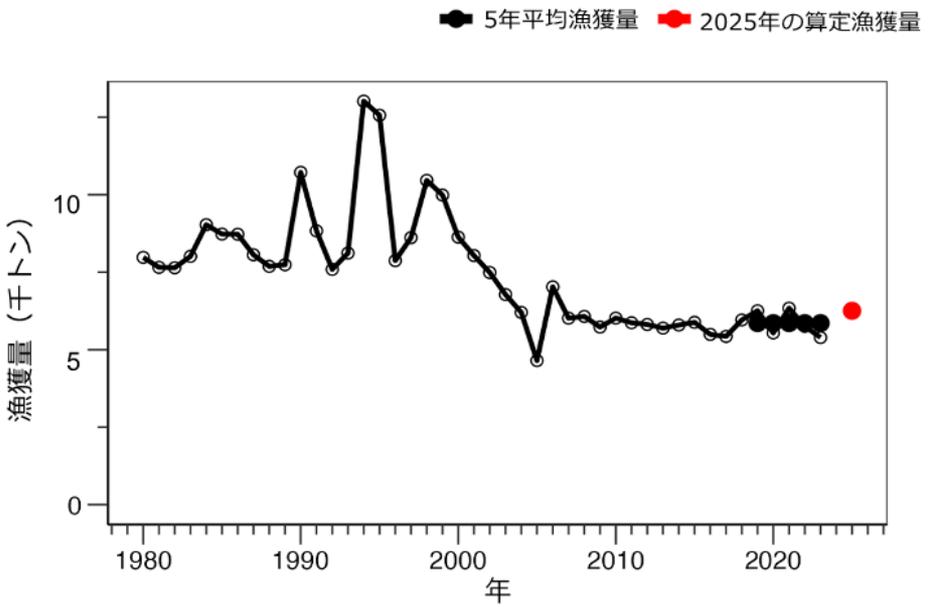


● 2023年の資源水準

## 2. 漁獲シナリオ(案)について

- 資源評価に基づき研究機関から提案されている漁獲シナリオの案を採用する
- その場合、**2025年漁期の生物学的許容漁獲量(ABC)**は、直近5年間(2019~2023年漁期)の平均漁獲量(5,855トン)に、直近(2023年漁期)の資源量水準から求めた「漁獲量を増減させる係数(1.07)」を乗じて算出した**6,254トン**となる。
- TACは、6,254トンの範囲内で設定

【漁獲量の推移と2025年の算定漁獲量】



ABCの算定(2025)	
直近5年間の平均漁獲量 (2019~2023)	5,855トン
資源量水準から求められた係数 (2023)	1.07
<b>ABC: 5,855トン × 1.07 = <u>6,254トン</u></b>	

## 4. 管理の対象範囲(案)について

### 《分布図》

#### 〈知事許可漁業の水域に係る管理対象の都道府県〉

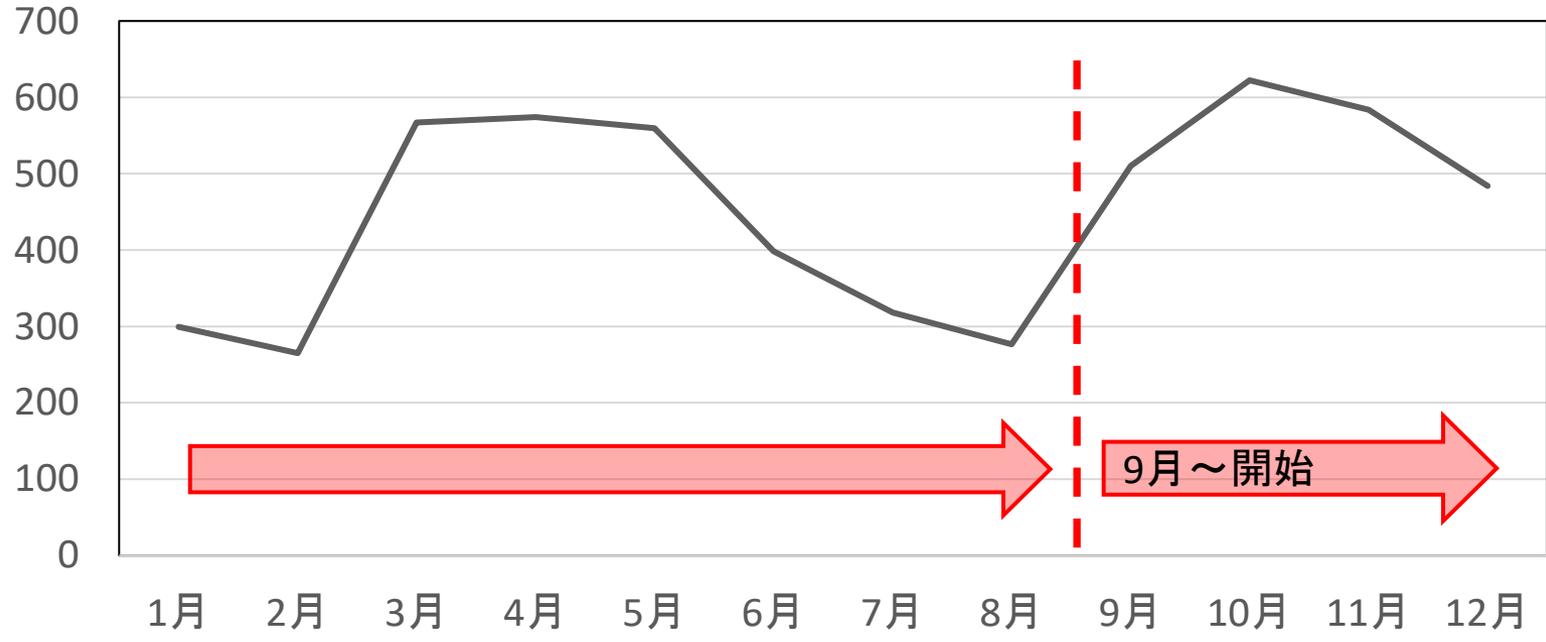
- 資源評価の対象水域(べにずわいがに知事許可漁業が対象とする全ての水域)に含まれる府県を対象とする。
- 具体的には、以下のとおり。

青森県、秋田県、山形県、新潟県、  
富山県、石川県、福井県、京都府、  
兵庫県



# 5. 管理期間(案)について

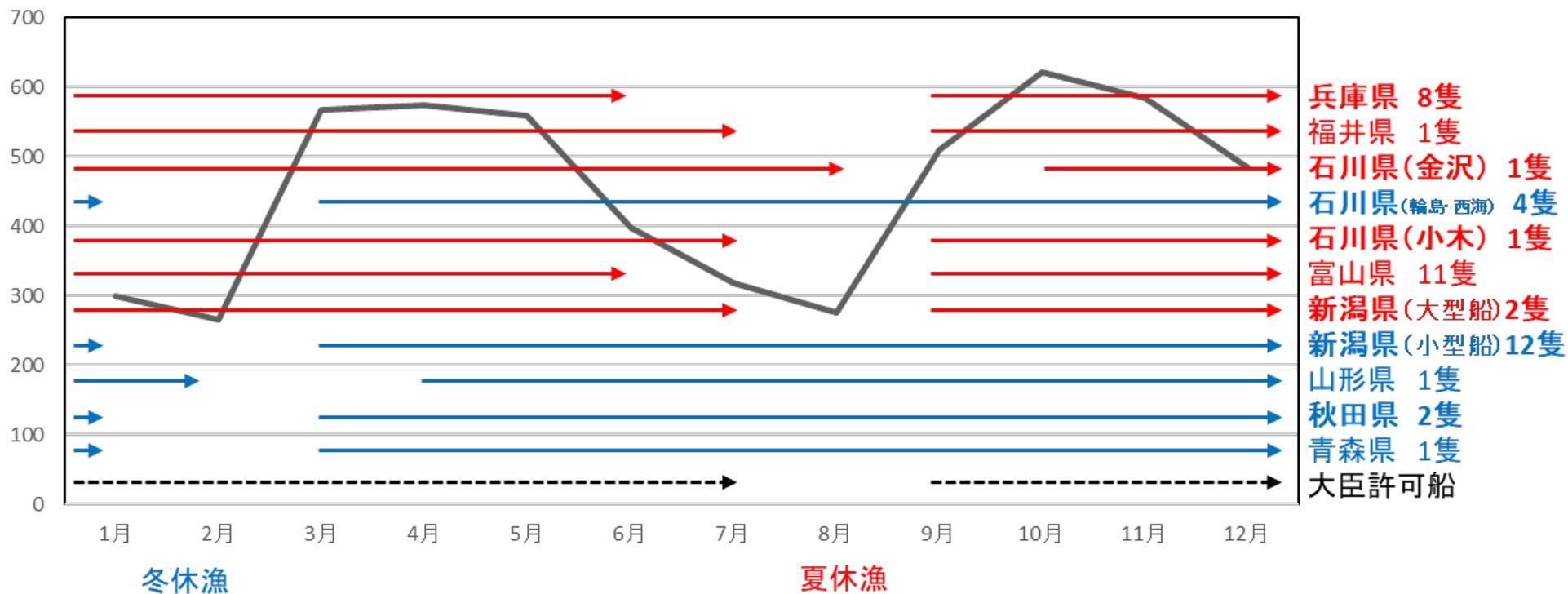
ベニズワイガニ日本海系群(知事許可水域) 月別漁獲量  
(過去5年(2019~2023)平均)



4月前後と11月前後の漁獲量が多いが、大臣許可漁業の管理期間との横並びを踏まえ、**9月～翌年8月**とする

# (参考:各県の操業期間及び隻数)

(トン)



# 6. 今後のスケジュールについて

時 期	事 項	具体的な内容等
令和7(2025)年5月頃まで	担当者会議や現地説明会等を開催し、漁獲量の報告・収集体制を始め、TAC管理の内容等について議論	
令和7(2025)年5月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源管理基本方針の改正案についてパブリックコメントを実施</li> <li>令和7(2025)管理年度のTACについて意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TAC魚種への追加(ステップ1の開始)について、資源管理基本方針の改正案を提示</li> <li>漁獲シナリオに基づくTAC案について意見交換(※国全体の数量を定めるのみで、都道府県等へ配分は行わない)</li> </ul>
令和7(2025)年6月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源管理基本方針の策定</li> <li>令和7(2025)管理年度のTAC決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産政策審議会資源管理分科会の意見を聴いて、決定</li> </ul>
令和7(2025)年9月	TAC管理(ステップ1)開始	管理期間:9月1日~8月31日